

NALC 横浜第 28 回定時総会議事録

日時：令和 4 年 6 月 5 日（日）12 時 00 分～13 時 40 分 議事
14 時 00 分～15 時 30 分 第 2 部

会場：横浜市旭区福祉保健活動拠点「ばれっと旭」

来賓：ナルク本部；会長 神野毅 様
川崎拠点；代表 花崎良政 様
南横浜拠点；副代表 早川和子 様

司会：甲斐昌彦 議長：棟保禎彦 書記：吉田由美子

1、総会成立宣言（司会）

総会成立は NALC 横浜運営規則 9 条（3）により、会員の 3 分の 1 以上の出席（委任状を含む）で成立する。開会時点における出席者は 53 名、委任状 235 名、合計 288 名で会員総数 425 名の 3 分の 1 以上であり総会は成立する旨、司会より報告があった。

2、吉川代表挨拶

久し振りに総会を開催でき良かった。

○全国統一ナルクデー活動として、横浜拠点は 4 月 25 日「相鉄線いずみ野駅前清掃」と、5 月 15 日「相模川河口干潟清掃」を行った。会員拡大に繋げていきたい。

○「歩こう会」の参加者が 3 月から増え、皆さんの外へ出ようという気持ちが伝わっている。多くの参加を期待している。

3、来賓紹介（上記）

4、来賓挨拶（ナルク本部会長 神野毅 様）

○会長としては初めて横浜拠点総会に出席した。今後は拠点からの依頼があれば出席する。

○4 月 20 日の全国一斉「ナルクデー」に本部よりのぼり旗を 50 拠点に送った。

会報ナルク 7 月号に（タブロイド判）参加拠点の写真を載せている。

○ナルク全体も厳しい状況が続き危機感を感じている。

（会員減少、時間預託点数ピーク時の 27% など）

○新たに「時代に合った組織作り」「本部と拠点の関係見直し」を目的に、70 歳未満で、「全国拠点リーダー研修会」参加者によるプロジェクトを立ち上げる。

5、議長選出、書記任命 (上記)

6、議事

(1) 令和3年度一般経過報告：福江事務局長 議案書1頁～5頁

○一昨年以降コロナの大きな影響を受け落ち方が大きい。

昨年は多少持ち直したが施設支援の減少が大きい、各ブロックでの会員間支援活動は増加

○奉仕活動は社会的貢献活動を行い、少し持ち直し落ち着いている。

○今後、施設支援活動していた会員をどのように繋げていくかが課題である。

(2) 令和3年度決算報告：上藺会計 議案書6頁～7頁

○収入合計1,204,815円 支出合計2,314,339円

収支差マイナス。1,109,524円

収入減：会員減による交付金の減少、活動減による時間預託寄付金の減少に依る

支出減：会議をリモートにし、交通費の節約となった。支払手数料は事務所のアパート更新料で見込み違いに依るもの。赤字額は令和2年度より約30万円減少した。

(3) 令和3年度監査報告：沼沢監事、内田監事

監事から、監査の結果、正常かつ適切な処理を確認したとの報告があった。

(4) 令和4年度活動計画方針：吉川代表 議案書8頁参照

(5) 令和4年度予算報告：上藺会計

○収入合計1,095,150円 支出合計2,170,000円

収支差マイナス1,074,850円(赤字の予算)

○消耗品内訳：ノートパソコン(中古)の購入、会議費：室料のみに。ブロック交付金はなし。

(7) 質疑応答・意見

○活動報告案について

会員から

・毎年会員拡大を掲げているが5年間減っている。やるべきことをやっていないのではないのか。会員とのコミュニケーションがとれているか。誰かがやってくれるのではなく、個々がやりやすくするのが拠点の役目ではないか。目標値を決めない目標はあり得ない。

代表などの回答

・会員の平均年齢が上がり拡大に向けてのエネルギーは減少しているが、本年度は新たに運営委員からなるプロジェクトチームを組んで取り組む。

○活動計画案について

会員から

・交流会のテーマ作りなど役員だけで努力しても限界がある。会員4，5人の小グループでのフリートークするやり方を推奨したい。楽しかったから次も行く、で参加者が盛り上げていく。

代表などの回答

・貴重な意見。早速各ブロックで実行したい

○その他の意見

会員から

・本部神野会長に来年も横浜定時総会出席を要望する

(8) 運営委員の退任・新任の紹介

退任

佐藤光夫（湘南ブロック）健康上の理由による

新任

井上隆一（湘南ブロック）

(9) 第28回定時総会の全議案は出席者の拍手によって承認された。

以上